

テーマ1「警察機能を発揮させる機能的な施設づくり」について、テーマ2「万全な防災対策による安全な施設づくり」について及びテーマ3「環境に配慮した魅力ある公共建築物としての施設づくり」についての提案

【業務の理解度及び取組意欲】
現在と未来の課題に向き合う新庁舎
計画地の周辺では大規模な2つの再開発が実施・計画されています。この開発により、インバウンドを含めた人や車の流れなど、計画地を取り巻く都市環境は大きく変化すると考えました。

- 1. 警察機能の機動的な発揮するための「区画と動線の再設定」
2. 都市デザインとの調和に重きを置いた「駐車場棟の内蔵化」
3. ゾーニング・セキュリティ向上と環境負荷低減を目指した「片側コア」
4. ボリュームの再構成による機能とコストの最適化「階数減」

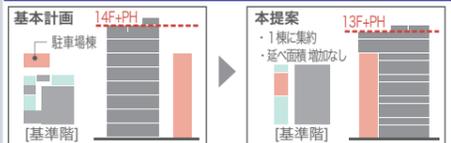


Table with 2 columns: Viewpoint (機能・防災の視点, 街並みの視点, 環境配慮の視点, コスト的視点) and Description.

広島市の平和と安心を支える新しい街のシンボル



近隣の再開発などによる周辺事情の変化に対しても意欲的かつ柔軟に対応します。

【業務への取組体制/設計チームの特徴】
【対話を重視し、発注者に寄り添い、想いをカタチに】
1. 関係者と丁寧に対話を積み重ねる設計スタイルで信頼関係を築き、迅速かつ円滑なコミュニケーションで発注者要望を設計に反映します。
2. 広島に設計室を構える組織設計事務所と地元老舗設計事務所がタッグを組み、地域に根ざした公共建築を実現します。
3. 組織的な技術支援、学識者との連携など、万全のサポート体制で臨みます。

【特に重視する設計上の配慮事項】
【メンテナンス志向のデザインによりLCCを27%削減】
key person HJ大教授 (維持管理・FM)
● 将来の労働人口減少を見据えた維持管理の省力化を目指したデザインとします。
● *A.修繕等*B.清掃*C.運転監視等について下記の方法で削減を実施します。

【警察機能を発揮させる機能的な施設づくり】
駐車場内蔵によるシンプルな構成で動線・連携・セキュリティを合理化

【片側コアの基準階構成で各階の機能連携を強化しフレキシブル性を向上】
1. 駐車場を取り込んだ片側コアとすることで、整形でまとまった執務エリアを確保し、各階の機能を効率的に配置できる基準階構成を提案します。



【スムーズな人流を両立する明確なセキュリティゾーニング】
1. 一般来庁者エリアをアプローチ動線を含めて明確に区分したセキュリティ性の高いゾーニング計画とします。



【迅速な出動を可能にする車両動線の計画】
7. 公用出入口は交通量の少ない南側道路に広く構えることで、城南通りへの接続部で発生する車両渋滞を回避し、いつでも迅速な出動が行える計画とします。

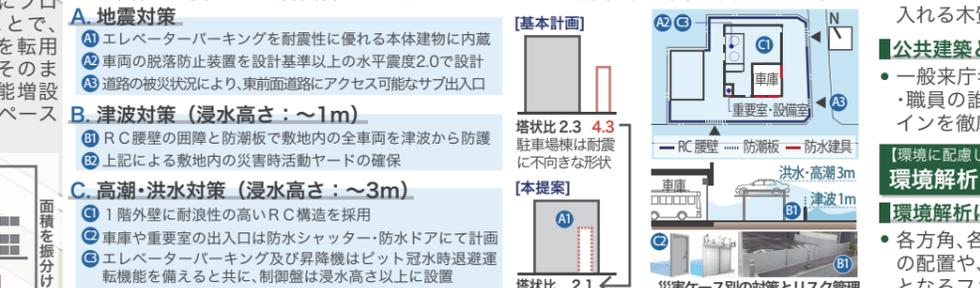
Table with 2 columns: [来庁者用] and [公用・職員用], listing vehicle types and counts for various parking areas.

【万全な防災対策による安全な施設づくり】
災害時指揮所としての高水準の耐震・BCP性能と車両基地としての備え

【大規模地震でも施設機能を良好に維持する制振構造の採用】
● 構造体1類/非構造部材A類/建築設備甲類に加え、より安全性を高める特殊構造を採用を検討します。

Table comparing seismic performance of different structural forms: 耐震構造, 制振構造, 免震構造.

【警察車両を被災から守り、災害時緊急出動を可能にするリスク管理の設計】
● 150台以上の公用車の出動基地となる本施設は、建物だけでなく、災害時の車両機動力の確保も重要であり、各災害ケース別のリスクを整理し効果的な対策を実施します。



様々な災害対策と万全のライフラインのバックアップ



Table listing backup systems for Power (電力), Water (上水), Sewerage (下水), and Communication (通信).

【環境に配慮した魅力ある公共建築物としての施設づくり】
都市デザインと調和した公共建築としての設

【街のファサードと調和するボリューム設計と緑のデザイン】
● 本敷地の周辺は中低層建物が多く、本体建物・駐車場棟(エレベーターパーキング)共に広島城近傍や城南通りからも視認性が高いため、都市景観に配慮したデザインを提案します。



【公共建築としてユニバーサルデザインを徹底】
● 一般来庁者ももとより、多様な属性の利用者・職員誰もが使いやすいユニバーサルデザインを徹底します。

【環境に配慮した魅力ある公共建築物としての施設づくり】
環境解析とZEBプランナーの知見を駆使してZEB Readyを実現

【環境解析によるファサードデザインで低熱負荷建築を実現】
● 各方角、各季節における建物への日射受熱量をシミュレーションで数値化し、非空調コアの配置や、日除けとなる外装ルーバーの角度・間隔、バルコニーの奥行など、熱負荷が最小となるファサード構成を提案します。

【ZEB Readyを達成し、グリーン庁舎を実現する3つの柱】
A. パッシブ
B. アクティブ
C. デマンドコントロール